

令和6年度 下水道維持管理業務取組み発表会
発表概要

所属 遠賀川中流浄化センター
発表タイトル 大雨時の雨水浸入水の傾向分析等について
取組の目的 近年、大雨の頻度と強度が増加しており、それに伴い発生する多量の雨水浸入水に対して的確に対応してることが浄化センターには求められている。 そこで、大雨時の雨水浸入水への対応能力を向上させることを目的として、過去の大雨における雨天時浸入水の傾向分析等を行った。
取組内容 (1) 幹線管きよ等の各種諸元の一元化 (2) 大雨時の雨天時浸入水量の傾向分析
取組成果・効果 (1) 幹線管きよ等の各種諸元の一元化 流入量・雨水浸入水量の正確な把握のため、関係する幹線管きよの各種諸元の一元化し、整理した諸元により管きよ内貯留量の見える化を行った。 (2) 大雨時の雨天時浸入水量の分析 近年の流入水量を解析することで、雨天時浸入水量を算出し、その傾向を分析した。今後の大雨時の揚水量設定や、簡易処理放流の判断への活用が期待される。